

# 経 済 統 計 学 会

第69回（2025年度）

## 全 国 研 究 大 会 プ ロ グ ラ ム

期 間：2025年9月12日（金）～9月13日（土）

会 場：中央大学多摩キャンパス 7号館, 8号館

### 日 程

研究大会 9月12日（金） 9:00～17:40

9月13日（土） 9:00～16:50

会員総会 9月12日（金） 13:10～14:10

懇 親 会 9月12日（金） 18:00～20:00

理 事 会 9月11日（木） 15:00～17:00

### 経 済 統 計 学 会 東 北 ・ 関 東 支 部

2025年度 第69回全国研究大会実行委員会

実行委員長 中央大学経済学部 伊藤 伸介

〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1

中央大学多摩キャンパス

TEL 042-674-3406(研究室直通)

E-mail [ssitoh@tamacc.chuo-u.ac.jp](mailto:ssitoh@tamacc.chuo-u.ac.jp)

## 9月12日(金)

8:20 受付開始

9:00 開 会

9:00~11:40 セッションA：国民経済計算・国際収支に関する諸課題

8号館 8301 教室

コーディネータ：櫻本 健（立教大学）

座長：萩野 覚（麗澤大学）

1. 斎藤 達夫（内閣府経済社会総合研究所）

2020年を対象としたデジタル供給使用表の試算結果について

2. 高山 和夫（福山大学）

2025SNAにおけるウェルビーイング

3. 萩野 覚（麗澤大学）

マーケティング資産に関する研究課題

4. 倉田 知秋（富山短期大学）\*・則竹 悟宇（立教大学）・櫻本 健（立教大学）

2020年産業連関表に基づく物価上昇の分析

—賃金上昇・補助金を含めたエネルギー・輸入価格上昇の影響—

5. 櫻本 健（立教大学）

デジタル統計に必要な統計調査

\*印は発表者（以下同じ）

9:00~10:30 セッションB：日本の統計史を考える

経済学部 7104 教室

コーディネータ：小林 良行（(公財)統計情報研究開発センター）

座長：山口 幸三（京都大学）

1. 森 博美（東北・関東支部）

物産・農産調査にみる個票と個体情報

2. 小林 良行（(公財)統計情報研究開発センター）

人口静態調査と原票使用地方分査

3. 上藤 一郎（静岡大学）

黎明期における日本の統計学と統計書

9:00~10:30 セッションC：自由論題1

経済学部 7103 教室

座長：大井 達雄（立正大学）

1. 大井 達雄（立正大学）  
滞留人口メッシュを使用した地域空間分析
2. 村田 磨理子（(公財)統計情報研究開発センター）＊・伊藤 伸介（中央大学）・高部 勲（立正大学）  
国勢調査の一般公開型匿名データの作成可能性に関する実証研究
3. 高部 勲（立正大学）  
秘匿性の高い匿名データの作成と利活用に関する研究

10:40~12:10 セッションD：労働・生活・福祉問題と統計(労働統計研究部会企画)

経済学部 7104 教室

コーディネータ 水野谷 武志(北海学園大学)・村上 雅俊(阪南大学)

座長：福島 利夫（東北・関東支部）

1. 村上 雅俊（阪南大学）  
母子世帯ワーキングプアの職業・産業別分析－2017年『就業構造基本調査』匿名データを利用して－
2. 水野谷 武志(北海学園大学)  
長時間労働者の属性的特徴における統計分析
3. 平井 太規(久留米大学)  
育児とICT機器利用のマルチタスク動向

10:40~12:10 セッションE：自由論題2

経済学部 7103 教室

座長：鈴木 雄大（北海学園大学）

1. 鈴木 雄大（北海学園大学）  
生活扶助相当CPIの経済学的検証と問題点の体系的整理
2. 小俣 惇（明治大学大学院）  
レオンチェフ文庫の整理状況報告（著者別資料等について）
3. 石田 進(立教大学大学院)  
クラウドコンピューティングサービス（CCS）の経済効果の正確な評価に向けて

12:10~13:10 昼休み

13:10～14:30 会員総会

8号館 8301 教室

14:30～15:20 セッション F（共通論題）：『統計学』創刊 70 周年記念号の刊行について

8号館 8301 教室

コーディネータ・座長：経済統計学会常任理事会

報告：『統計学』創刊 70 周年記念事業ワーキンググループ（WG）

15:30～17:40 セッション G（共通論題）：令和 7 年国勢調査の実施に向けて

8号館 8301 教室

コーディネータ：経済統計学会全国プログラム委員会

座長：上藤 一郎（静岡大学）

1. 中村 英昭（総務省統計局）

令和 7 年国勢調査を巡る課題と対応

2. 佐藤 正広（東北・関東支部）

第一回国勢調査の諸問題と現代

3. 小池 司朗（国立社会保障・人口問題研究所）

人口移動集計と地域別将来人口推計の観点からみた令和 7 年国勢調査の展望

予定討論者：森 博美（東北・関東支部）

18:00～20:00 懇親会

会場：1号館 1406 号室

## 9月13日(土)

9:00~12:10 セッションH: わが国における統計調査のさらなる可能性をめぐって

経済学部 7104 教室

コーディネータ: 坂田 幸繁(東北・関東支部)・伊藤 伸介(中央大学)

座長: 坂田 幸繁(東北・関東支部)

1. 栗原 由紀子(立命館大学)・坂田 幸繁(東北・関東支部)\*  
日本の公的統計調査に関する統計意識の分析
2. 西村 善博(九州支部)  
フランスにおける人口センサス実施基盤の整備について
3. 菅 幹雄(法政大学)\*・阿久津 文香(総務省統計局)  
日米の年次産業統計調査の調査システムの比較
4. 小西 純((公財)統計情報研究開発センター)  
地域メッシュ統計データを利用した集落抽出の誤差評価
5. 高橋 将宜(中央大学)  
高次元の欠測データに対するサポートベクターマシンによる多重代入法の提案
6. 菅 幹雄(法政大学)  
「宿泊旅行統計調査」と「経済センサスー活動調査」の統計的マッチング

9:00~11:40 セッションI: ジェンダー統計の「北京+30」ー経過と課題ー(ジェンダー統計研究部会企画)

経済学部 7103 教室

コーディネータ: 杉橋 やよい(専修大学)

座長: 芳賀 寛(東北・関東支部)

1. 高橋 雅夫(長野大学)  
女性役員の有無と企業動態の関係分析ー企業の開廃業に着目してー
2. 平林 有里子(昭和女子大学)\*・粕谷 美砂子(昭和女子大学)  
全国消費生活情報ネットワークシステムを用いたジェンダー統計の可能性
3. 渡邊 瑞穂(昭和女子大学)\*・伊藤 純(昭和女子大学)  
子どもの養育を支える非正規公務員の現状と問題点ージェンダー統計からのアプローチー
4. 杉橋 やよい(専修大学)  
2021年 England and Wales Census の性別欄の検討
5. 伊藤 陽一(東北・関東支部)  
ジェンダー統計論の現在的課題と今後の取組み方向の検討

12:10~13:10 昼休み

13:10~16:50 セッションJ：地域経済と統計分析

経済学部 7104 教室

コーディネータ・座長：菊地 進（東北・関東支部）

1. 芦谷 恒憲（兵庫県立大学）

地域における政策統計の作成と利用上の課題

2. 上藤 一郎（静岡大学）

地方行政と地域統計－EBPM 再検討－

3. 則竹 悟宇（立教大学）

中小企業振興に関する地方自治体アンケート調査の分析 — 事業所母集団データベースの利用による —

4. 田中 力（立命館大学）

土地の所有と利用に関する統計の現状と課題—地域分析の視点から—

5. 小西 純（(公財)統計情報研究開発センター）

政令指定都市における地域メッシュ別出生指標の時系列分析

6. 菅沼 祐一（東北・関東支部）

市区町村が月初に公表する前月の死亡数データの活用方法についての研究

7. 新井 郁子（(公財)統計情報研究開発センター）\*・西内亜紀(統計情報研究開発センター)・草薙信照(大阪経済大学)

関西国際空港の立地がもたらした産業の変化—3次メッシュデータに基づく空港周辺と都市部との比較—

13:10~16:20 セッションK：産業連関分析と経済社会

経済学部 7103 教室

コーディネータ・座長：橋本 貴彦（立命館大学）

1. 木村 啓志（立命館大学大学院）

ソフトウェア業における平均波及世代数(APL)を用いた分析

2. 赤木 茅（千葉商科大学）

投入制約を考慮した会計状態空間 ABM による波及効果分析

3. 田添 篤史（三重短期大学）

日本における投下労働量の変化とその要因

4. 朝倉 啓一郎（流通経済大学）

産業連関計算の形成過程と政策的指向の対応関係について

5. 橋本 貴彦（立命館大学）

貿易の利益と産業連関分析

6. 泉 弘志（関西支部）

経済統計学会における剰余価値率計測の諸成果と今後の課題

## お知らせとお願い

1. 研究大会と懇親会にかかわる同封の返信はがきは、2025年8月5日（火）までに、ご返送願います。また、理事の方は、理事会への出欠についても併せてご回答ください。
2. 研究大会の参加費（含報告要旨集）は、正・団体会員：2,000円、院生会員等：1,000円、非会員3,000円です。懇親会費は5,000円です。なお、これらの金額は予定です。事情により変動することがありますので、その際にご容赦ください。
3. 報告者の方は、別途お知らせする要領で「報告要旨集」の原稿の送付をお願いします。8月2日（土）までに原稿のご提出をお願いします。
4. 会場配布資料は、紙の場合は各自ご持参いただき、それぞれのセッション会場で係員にお渡しください。事前の郵送等には対応していません。オンラインでの配布を可能とする予定です。当日までにご案内させていただきます。
5. 報告時間は質疑を含め1報告につき30分を原則とします。ただし、各セッションで報告時間の配分・運用・形式が異なることがあります。実際の報告時刻・時間は各セッションのコーディネータまたは座長によるご案内にしたがってください。  
会場ではPowerPointが利用可能です。報告者は、セッション開始前に会場PCにファイル（ウイルス対策チェック済のもの）のコピーを係員にご提供ください。  
学内でのwi-fiは学術機関共通のeduroamが利用可能です。ご所属により利用できない場合があります。利用法については次などを参考にしてください。  
<https://sites.google.com/a/g.chuo-u.ac.jp/eduroam/>
6. 会場では食事はできませんが、蓋付き容器で飲料を摂取することは可能です。暑中につき水分補給にご注意ください。自動販売機等が利用可能です。7号館7102室は、休憩室として、休憩や準備のためにご利用ください。休憩室における大声での談話をご遠慮ください。大会期間中の昼食については、当日案内させていただきます。基本的に学内外の施設が利用可能です。
7. 理事会を下記の要領で開催します。理事の方はご参集ください。  
日時：9月11日（木）15:00～17:00  
会場：中央大学多摩キャンパス 7号館7101室
8. 宿泊については各自で御手配ください。早めのご予約をお勧めします。
9. 学会大会開催にあたり、追加のお知らせや不測の事態による予定の変更などの場合は、学会ホームページや支部メーリングリストなどにてお知らせしますので、ご注意ください。また、ご不明な点については下記のプログラム委員会までお問い合わせください。

### 経済統計学会第69回全国研究大会プログラム委員会

委員長	伊藤 伸介（東北・関東支部）
副委員長	大井 達雄（東北・関東支部）
委員	鈴木 雄大（北海道支部）、村上 雅俊（関西支部） 平井 太規（九州支部）、尹 清洙（九州支部）

# 大会会場アクセスマップ

## 中央大学多摩キャンパス



図の右側にある多摩都市モノレール「中央大学・明星大学駅」から、通路に沿って歩いていただくと、会場に到着します。会場は図の中央にある7号館と8号館です。

多摩キャンパス: 〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1

<https://www.chuo-u.ac.jp/access/tama/>

- ① 多摩モノレール『中央大学・明星大学駅』直結 徒歩 0 分  
注) モノレールへは、JR 中央線「立川駅」, 京王線「高幡不動駅」, 小田急線・京王線「多摩センター駅」から接続しています。
- ② 京王線『多摩動物公園駅』から徒歩約 10 分
- ③ 小田急線・京王線『多摩センター駅』下車, バス (13 番バス停) で約 12 分
- ④ JR 中央線『豊田駅』下車, バス (南口のりば) で約 15 分

## 参考資料

### キャンパスマップ

[https://www.chuo-u.ac.jp/uploads/2025/03/access\\_tama\\_01.pdf?1751066394609](https://www.chuo-u.ac.jp/uploads/2025/03/access_tama_01.pdf?1751066394609)